

あなただけのオリジナルゲームアプリを作って体験してみよう！
モバイル端末の最先端テクノロジーがわかる企画展

企画展 「Enjoy Mobile Apps ～アプリで広がるモバイル端末の可能性～」 開催中

ソニー・エクスプローラサイエンス（東京都港区台場1-7-1 メディアージュ5F）では、3月16日（土）～9月8日（日）（予定）まで、新企画展「Enjoy Mobile Apps ～アプリで広がるモバイル端末の可能性～」を開催しています。

スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末には、小さな筐体の中に最新の技術が詰め込まれています。温度や動き、明るさなどを感知するセンサーや、カメラ・無線通信など、さまざまな機能を搭載することで、あらゆる生活シーンでわたしたちと一緒に移動し、活躍できるツールとして進化を遂げています。

今回の企画展では、モバイル端末に搭載されている機能のご紹介とゲームアプリの開発体験を通して、手のひらサイズの中に凝縮されている最先端テクノロジーの世界に迫ります。

～ 記 ～

<企画展 『Enjoy Mobile Apps ～アプリで広がるモバイル端末の可能性～』 実施概要>

【タイトル】	『Enjoy Mobile Apps ～アプリで広がるモバイル端末の可能性～』
【実施期間】	2013年3月16日（土）～2013年9月8日（日）（予定）
【会場】	ソニー・エクスプローラサイエンス 内 「スタジオ SES」
【入場料】	大人（16歳～）500円・小人（3～15歳）300円・2歳以下無料 ※常設展示エリア入場料含む
【協力】	ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社



企画展 『Enjoy Mobile Apps ～アプリで広がるモバイル端末の可能性～』 外観

【展示内容 -抜粋-】

■スマートフォンの機能をのぞいてみよう

スマートフォンには様々なセンサーデバイスや機能が凝縮されています。このコーナーでは、その機能の働きがよく分かるオリジナルアプリをご体験いただけます。

●サウンドギャザリング (Sound Gathering)

現在発売中のスマートフォン『Xperia™ ※1 Z』には、通信距離10cm程度の近距離無線通信技術 NFC※2 が搭載されており、NFC対応機器との通信が可能です。NFCは、「かざす」動作をきっかけとし、わかりやすい通信手段として注目を集めています。この展示は、街の音をICタグと関連づけ、街の模型の中に配置したタグに近づくといろいろな音が呼び出されるしくみとなっています。さあ、端末を模型の街にかざしてみましょう。

※1 「Xperia」はSony Mobile Communications ABの商標または登録商標です。

※2 Near Field Communicationの略称。近距離無線通信の国際標準規格です。

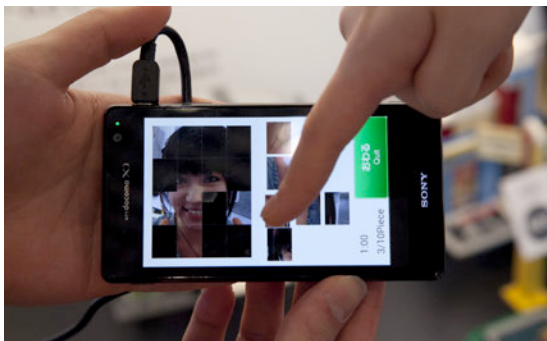
●パズルシャッター (Puzzle Shutter)

カメラで撮影した画像が分割され、ジグソーパズルになります。自分の顔や家族を撮影して、パズルに挑戦しましょう。

数多くのモバイル端末に搭載されているカメラ機能もさらに進化しています。『Xperia™ Z』は、ソニーが世界で初めて開発した積層型イメージセンサー“Exmor RS for mobile”を搭載し、明暗差が大きいシーンで美しい動画を撮影できるHDR（ハイダイナミックレンジ）ビデオにも対応しました。さらに枚数制限なく、シャッターを押し続けている間、高速連写ができるなど、最先端の機能を凝縮しています。

●バウンストーン (Bounce Tone)

持ち運ぶことを前提としているモバイル端末は、傾き等の動きを検知する加速度センサーやジャイロスコープセンサーを搭載しています。このアプリは、端末を振ったり傾けたりして画面上のボールを動かすと、それに合わせて様々な音がします。楽器を演奏する感覚で、センサーの働きを確かめてみましょう。



【画像】 パズルシャッター



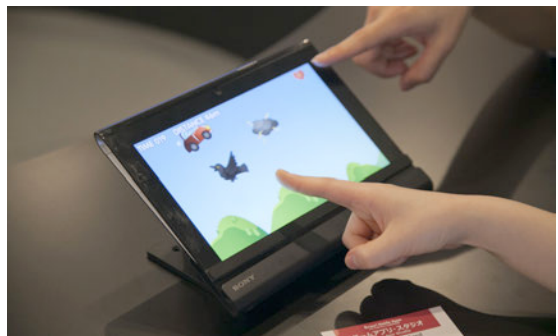
【画像】 サウンドギャザリング

■ゲームアプリを開発しよう

より高度なグラフィック処理能力や機能を活用し、モバイル端末でゲームを楽しむ機会も増えてきました。このコーナーでは、あらかじめ用意したゲームアプリのフォーマットをもとに、キャラクターや背景、難易度などを自由に設定して、あなただけのオリジナルゲームアプリを作って体験することができます。



【画像】 ゲームアプリを開発しよう（1）



【画像】 ゲームアプリを開発しよう（2）

